

水稲用初・中期一発処理除草剤

メガゼータ[®]

フロアブル

- ◆ 直播水稲に登録拡大
- ◆ 収穫60日前まで使用可能



真正正銘、少成分！

プロピリスルフロン
ピラクロニル
2成分

◆ 2成分の一発剤 ◆ 難防除雑草に優れた効果 ◆ 3剤型勢揃い



ノビエ



ホタルイ



コナギ



クログワイ



コウキヤガラ



シズイ



オモダカ

メガゼータ[®]フロアブル



◆ 2成分の一発剤 ピラクロニルの配合により優れた速効性を発揮

◆ 難防除雑草に優れた効果 多年生雑草・SU抵抗性雑草に有効

◆ 3剤型勢揃い 使用者のニーズに合わせてご使用いただけます

適用と使用方法

2019年4月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ エゾノサヤカグサ シズイ オモダカ クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後5日～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	500ml /10a	1回	原液温水散布、 水口施用又は 無人ヘリコプター による滴下
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ノビエ3葉期 ただし、 収穫60日前まで			原液温水散布 又は 無人ヘリコプター による滴下

主要雑草に対する使用適期

ホタルイ ウリカワ ヘラオモダカ ミズガヤツリ	3葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から再生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前
エゾノサヤカグサ	2葉期まで
シズイ	草丈3cmまで
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで

■プロピリスルフロンを含む農薬の総使用回数:2回以内 ■ピラクロニルを含む農薬の総使用回数:2回以内

上手な使い方 [散布量/10a当り500ml (1本)]

均平化作業・植付けはていねいに!	移植深度は適正に!	散布時の注意!	散布後の注意!
<p>田面が凹凸していると薬剤が均一に広がらず、効果不良・葉害の原因になることがあります。</p>	<p>極端な浅植では根が露出し葉害原因となります。根が土壌中に隠れるよう、適正な移植深度に田植機を設定してください。</p>	<p>散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3~5cm)で散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。</p>	<p>散布後3~4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。</p>

使用上の注意事項

- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3葉期までに、時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにしてください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3~5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布してください。また、極端な浅水や深水での使用をさけてください。
- 水口施用の場合は入水時に本剤を水口に施用し、流入水と共に水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湛水状態(水深3~5cm)に達したときに必ず水を止め田面水があふれ出ないように注意してください。
- 散布後3~4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいにおこなってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなってください。
- 以下のような条件下では葉害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - 砂質土壌の水田及び漏水の大きな水田(減水深が2cm/日以上)。
 - 軟弱な苗を移植した水田。
 - 極端な浅植えの水田。
- 著しい多雨条件下では除草効果が低下する場合がありますので使用はさしひかえてください。
- 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用してください。
- 無人ヘリコプターで滴下する場合は次の注意を守ってください。
 - ①滴下は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - ②滴下に当たっては散布装置のノズルを使用しないでください。
 - ③作業中、薬液が漏れないように装置の充分な点検を行ってください。
 - ④隣接する圃場に水稲以外の作物が栽培されている場合は無人ヘリコプターによる本剤の滴下はおこなわないでください。
 - ⑤水源池、飲料水等に本剤が飛散、流入しないよう十分留意してください。

- ⑥薬剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
- ⑦本剤の滴下に使用した無人ヘリコプターの散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。
- 直播水稲で使用する場合は、稲の根が露出する条件では葉害を生じるおそれがあるので注意してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもめまでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 散布田の田面水を他の作物に湛水しないでください。
- その殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用するには十分に注意してください。
- いくさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 畜に對して影響があるので、周辺の畜業にはかからないようにしてください。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人ヘリコプターによる滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 散布の際は手袋、長スポン、長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんなどでよく洗い、うがいをしてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

31H4D19M08 : ZS

2019年4月作成 (全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐくへ
SCC GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト <https://www.i-nouryoku.com>

